

新たな漁業取締船「ふさかぜ」の概要

1 建造の目的

国は水産政策の改革で、適切な資源管理と水産業の成長産業化を目指して漁業法等を改正し、実効性ある資源管理のために密漁に対する罰則を強化しました。

法改正を受け、本県においても、違法操業の取締りや沿岸域での密漁監視体制の強化が必要となっています。

そこで、資源管理の確実な実行と操業秩序を維持するため、取締機能の強化や長寿命化を図った漁業取締船「ふさかぜ」を建造することとしました。

2 新船の概要

(1) 船名 ふさかぜ

(2) 主要目

総トン数 約160トン

全長 約43.1m

船質 鋼製

主機関 1,839kW

定員 12名

搭載艇 FRP製 2.8トン

(3) 造船所 (株)アイ・エス・ビー(富津市)

建造管理監督 (一社)海洋水産システム協会

(4) 総工費 1,308百万円

設計 7百万円

建造・監理 1,301百万円

(5) 建造期間 令和3～5年度

(6) 主な特徴

取締監視機能強化：長距離音響発生装置、近赤外線監視カメラ

長寿命化対策：デミスター(湿気等の除去機能)設置

労働環境改善：機関監視室の設置、船室の個室化、女子トイレの設置



完成イメージ図